

企業概要

- 社名：株式会社ビックツール（鳥取県） <http://www.bictool.com/>
- 従業員数：71人 ■ 資本金：16百万円 ■ 売上高：950百万円
- 事業内容：自動車整備用機器・産業用機器の製造販売 ■ 知的財産：特許8件、商標2件

相談のきっかけ

切れ味鋭い当社の月光ドリル®



自社ドリルの特徴を生かした事業展開

当社で開発したドリルは、従来品と比較して切れ味が良く、消費電力が少ないため長寿命が特徴であり、医工連携に力を注ぐ。医療現場における医工連携の取組がTV番組で放映されたことを契機に、全国の病院特に接骨医院や歯科医院から問い合わせが殺到。ドリルの切れ味等を医療現場で立証し、信頼性を高めてきた結果、徐々に受注も多くなり、売上向上につながる。

医療ドリル分野へ進出

当社ドリルの熱が出にくいという特徴を活かして医療ドリル分野へ進出、医療関係の国内外の展示会に積極的に参加し、製品のPRを行う。ブランド専門家／海外プロデューサーの支援より、海外へ本格的に展開すると共に、コアとなる当社の独自の技術（製品）を、特許／商標でカバーできる知財戦略を再検討したい。

課題と支援の内容

課題	支援のポイントと活用した専門家
事業戦略	<ul style="list-style-type: none"> 市場調査、ターゲット顧客の見直し 医療ドリルに関する技術動向の把握 製造方針の見直し最適化 量産へ向けての製造ラインの効率化 薬事申請に向けた試作検証の省力化 ブランド専門家技術士
販売・拡販	<ul style="list-style-type: none"> 販売方針の見直し ブランドの差別化要因の見直し ブランディング方針の策定 独占契約内容の見直し ブランド専門家弁理士
知財戦略	<ul style="list-style-type: none"> 他社特許の確認 自社技術の位置づけ確認と自社知財網の構築 知財経営専門家弁理士

リーダー：押久保政彦（弁理士、ブランド専門家）
支援担当者：岩田克己（鳥取県知財総合支援窓口）

支援を通じてできたこと

項目	支援成果
事業戦略	<ul style="list-style-type: none"> 医療用ドリルに関する技術動向を把握し、接骨医院や歯科医院への進出の目途がたった。 新しい製造ラインの工場竣工ができ、量産体制を確立することができた。
販売・拡販	<ul style="list-style-type: none"> 医療用ドリルの差別化を図り、新しい販売方針に基づき、国内外への拡販の基盤ができた。 新規の独占契約書を締結し、医療分野に参入が可能になった。
知財戦略	<ul style="list-style-type: none"> 自社技術の位置づけを明確にした上で自社特許網を構築することで、知財面から事業基盤を整えることができた。

社長の支援成果についてのコメント

自社ドリルの特徴を活かした事業戦略を実践することにより、医療分野にメスを入れることができた。医療用ドリルとして医療分野での信頼性が国内外で高まり、引いては売り上げ向上に結びつける目途がついた。更に医療ドリルを知財で保護でき、同業他社より一歩先に進めることができた。